

# 特色ある“学校づくり”や “充実した社会教育”を目指して

今年は平成11年以来の大変暑い夏で例年以上に海水浴やキャンプなどを楽しんだ方も多いのではないのでしょうか？

暑がった夏休みも終わり、はや1カ月が過ぎました。2学期は修学旅行、学芸会、学校祭など一番心に残る学期でないでしょうか。

また、秋には社会教育も充実した内容の事業を計画しています。

今後も生徒たちの活気ある活動や社会教育事業を随時紹介します。

## ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会  
☎23-2689

### プロに学ぶ 家政科実習授業

当別高等学校

本校家政科は、2年生から保育コースと食物調理コースに分かれるコース制を取り入れています。生徒の特性と希望を生かし、より専門性の高い特色ある学習活動を展開するねらいがあります。



特別調理実習

保育コースでは、9月15日～17日と11月24日～25日の5日間、2年生で初めて「保育実習」を計画し前半が終了しました。16人の生徒が町内5カ所の幼稚園・保育所の先生の指導で幼児教育と保育の『現場』を体験、実習しました。

また、食物調理コースでは、9月16日・17日の2日間、調理・製菓関係の学校の協力で「特別調理実習（出前授業）」を実施。講師の先生方はいずれもプロのシェフまたはパティシエとして輝かしい経歴の持ち主で、生徒たちは普段にも増して真剣な眼差しでその指導に見入り聞き入り、実習に取り組みました。

### 侵入者から子供たちを守るぞ！

9月2日、町教委主催で学校への侵入者から子供たちの安全を守るために小中学校の教職員を対象に「防犯用刺股さすまたの実技講習会」を当別交番の中田潤一所長を講師に招き指導を受けました。

講習会では実際に刺股（棒の先がU字型の器具が付いて、アルミ製で長さ1.8m）を使って相手の



姿勢を崩し凶器を振り落とす方法を学び、一人だけでなく教員同士が連携して相手に立ち向かう大切さを再確認しました。

### 琴で学ぶ 伝統文化

中小屋中学校

本校では、昨年に引き続き、音楽の授業に和楽器の琴を取り入れ、指導には清水秀瑞先生を招き、全校生徒7人が文化祭に向けて練習を重ねています。



今年度は、町内の全小中学校が集まり合唱や演奏を行う『音楽の集い』はもちろんのこと、地域の方々にも美しい音色を聞かせることができたらと思っています。少人数ですが一人ひとりが目標をもって意欲的に頑張っています。

琴の演奏を通して、人と人との出会いを大事にして、さまざまな考え方に触れ、自分なりの生き方を学ぶ機会になればと思っています。

### 9月17日 1日で6カ国語を学んだ？

弁華別中学校



自己紹介（名刺交換）

国際交流事業団（JICA）のガンビア、ケニア、ギニア、セネガル、トーゴ、コンゴ民主共和国、の男女8人の研修員が来校し、今年

で3回目となる交流学习を行いました。8人の研修員は、北海道の大学や研究所、農場、食品流通の市場などで最先端の技術を学んでいます。

生徒たちは事前に英語の名刺作成や日本の文化・生活をどのように説明するか、何を質問するかなど意欲的に準備を進めました。当日はヨサコイ披露や全員でダンスを踊るなど和やかな中で交流しました。

また、日本との文化、生活様式の大きな違いに驚き、生徒たちはいかに自分たちが恵まれた生活を送っているかを改めて理解しました。



## 太陽の恵みに感謝

### 親子で秋のきのこ狩り

道民の森神居尻地区を会場に1泊2日の日程で、「アウトドアプロジェクト（秋編）森の恵みに感謝 親子で秋のきのこ狩り」が町教委の主催、「当別エコロジカルコミュニティー」の指導で開催しました。

「林野庁きのこアドバイザー」の資格を持つ大垣勇夫さんを講師に、森の中で食べられるきのここと食べられないきのこの見分け方などを教わりながらきのこ狩りを楽しみました。採れたてのきのこはみんなで調理し美味しくいただきました。

2日目は落ち葉や木の枝などを利用してクラフト作りにチャレンジするなど、自然を満喫し家族で楽しいひと時を過ごしました。

（9月18日・19日）



## 当別学講座で「福祉とまちづくり」

### ～サポートネットワークを中心に～

町教委と北海道医療大学が共催する当別学講座「福祉とまちづくり」を公民館で開催しました。道医療大学谷中輝雄教授を講師に、ことぶき大学受講生やつくし作業所の方など32人が参加しました。講演は、教授自ら携わったさいたま市のやどかりの里が行う精神障害者の社会復帰活動や当別でのつくし作業所が誕生するまでと、そこに通っている方がたくさんの願いや夢をもっていることなどの話をしました。

また、「障害者だから老人だからと分け隔てなくすべての人の助け合いで成り立ち、人と人がつながり、心の通う町『やさしさを持つ町当別』を作ることが福祉を中心とした町づくりを考えるとき大切なことです」と締めくくりました。（9月10日）



## スターライト子ども会見事優勝

### 当子連少年野球大会

町子ども会育成連合会主催の少年野球大会が当中グラウンドと阿蘇少年野球場で開催されました。10チーム約150人の小・中学生が参加し白球を追う真剣な姿と繰り上げられる熱戦に父母からの声援にも熱が入りました。

決勝戦は、緑町・春日町連合チームとスターライト子ども会が対戦し、延長戦までもつれる大接戦の末、



昨年準優勝の雪辱に奮起をしていたスターライト子ども会が逆転サヨナラ勝ちを納め、大森会長より優勝旗を手渡されました。

（8月29日）

## “食” シリーズ 米飯給食について

町では、週3回米飯給食（100%当別産を使用）を実施しています。給食のアンケート結果からも、ご飯はおいしい（普通も含む）と答えた児童・生徒は約95%います。地産地消が言われる今、年中通して食べられるお米の味を子供たちに覚えてもらい大切にしたいと思えます。

台風18号の影響が心配されますが今年のお米の味はどうか、今からわくわくしています。給食で新米が登場するのは、10月の末頃を予定しています。

### 平成15年度文部科学省調査結果から

全国で約980万人の幼児・児童・生徒が学校給食で米飯給食を食べています。



☑米飯給食の実施率・月当りの平均実施回数☑

|                    | 実施率<br>(学校単位) | 月当りの平均<br>実施回数 |
|--------------------|---------------|----------------|
| 平成15年度             | 99.3%         | 11.6回          |
| 平成14年度             | 99.3%         | 11.4回          |
| 昭和51年度<br>(米飯給食導入) | 36.2%         | 2.5回           |